

令和8年度 第1回大津市胃がん検診協議会 議事要旨

- 1 開催日時：令和8年8月26日（水）18時00分～19時30分
- 2 開催方法：会場開催（健康づくり会議室）及びオンライン
- 3 出席者 5名（5名中）
欠席者 0名
事務局 6名
傍聴者 0名

4 議題

（1）報告事項

令和7年度胃がん検診（胃内視鏡検査・胃部エックス線検査）及び胃がんリスク検診（胃の健康度検査）の実績について

（2）協議事項

- ①撮影画像の評価について
- ②検査医の資格要件について
- ③胃がん検診（胃内視鏡検査）読影会について

5 議事概要

（1）報告事項

令和7年度胃がん検診（胃内視鏡検査・胃部エックス線検査）及び胃がんリスク検診（胃の健康度検査）の実績について

事務局：資料1に基づき説明

委員：先生方、何かご意見がありましたらよろしくお願いします。

委員：資料を見ると、胃部エックス線検査で、がんはこの3年見つかってないですね。でも胃内視鏡検査の割合が増えているのでいい傾向かと思います。

委員：受診者数が増えて発見率が低下しているということは、胃がんが少なくなっているということでしょうか。

委員：胃がん自体が少なくなっていることは確かだと思います。

委員：70歳以上の方で発見率が高いが、胃内視鏡検査においては60歳代の人が受ける人が多いということですね。

委員：そういうことになります。国の指針で示されている推奨年齢も69歳までとしています。

委員：わかりました。

委員：参考資料の胃がんの死亡者数で、70代80代が圧倒的に多いので、ここをフォローしてあげられればと考えます。

委員：どのがんについても、80 歳以上も検診を実施しているのが現状かと思えます。データを見ると、胃部エックス線検査の陽性反応的中率が低くなっている状況で、根強く 80 歳以上の方で胃部エックス線検査を受けておられる方がいるが、この方々を、胃内視鏡検査にまわすというのはいかがでしょうか。例えば、70 歳以上の胃部エックス線検査を選択される方には、できれば胃内視鏡検査を受けてはどうかと勧める。やはり胃部エックス線検査は 80 歳以上の方では事故の可能性もあり、便秘などのリスクもあるので。そこを検討いただけると啓発としてもよいかと思えます。

事務局：現在、80 歳以上の方から胃部エックス線検査の申し込みがあった場合、バリウムの誤嚥や台からの転落というリスクがあるため、胃内視鏡検査を提案している。それでも胃部エックス線検査を希望される方は予約を受け付けている。

委員：受診率の向上に関して、7 ページ 2 番の表で、胃内視鏡検査の受診率は増えているが継続受診の方の数が少ない。委員の先生方、実際に胃内視鏡検査をしている先生方に、1 回目の受診後、2 年後も受診するよう啓発すると継続受診者も増えるかと思えます。スライド 11、胃がんリスク検診について、廃止するかという議論を過去にもしています。50 歳代の受診者が多く、精密検査を受けていない方もいる状況であると説明がありました。胃がんリスク検診の対象年齢はどうなっていますか。

事務局：現在の胃がんリスク検診の対象年齢は、年度年齢で 40 歳から 60 歳までの方で、今まで胃がんリスク検診を受けていない方が対象です。50 歳からは胃がん検診が対象であるため、胃がんリスク検診の対象年齢を 40 代に変更することについて、検討したいと考えています。

委員：胃がんリスク検診は節目検診ですね。

事務局：現在は、40 歳から 60 歳までの未受診者はどなたでも受けられます。

委員：おそらく、その啓発がきちんとできてない。開業医も、胃がんリスク検診は 40, 45, 50 で受けるというイメージがあると思う。もし 50 歳以上の方は胃内視鏡検査を受けてもらうのであれば、40 から 49 歳の方は誰でも受けられると啓発をし、そこで要精密検査となった方には積極的に胃内視鏡検査を受けてもらう。その方法は、すごく理にかなっていると思う。1 つの意見として、40 から 49 歳の方々に積極的に啓発を進めていく、50 歳を超えたら、胃内視鏡検査を勧めていく。ぜひ検討いただいて、委員会の意見として挙げればよいと思う。胃内視鏡検査の継続については、読影会に出席した先生方にも、2 年後の継続受診について積極的に啓発してもらうように事務局からも周知してください。

(2) 協議事項

①撮影画像の評価について

事務局：資料2に基づき説明

委員：今後、二次読影医も、所見だけではなく撮影方法を積極的に評価するべきということです。1つの意見として、今は開業医同士で第一読影・第二読影としているのを、第二読影を病院の方にまわし、病院の先生にコメントいただくことで精度が上がるのではないかと考えます。それに伴い、検診票の赤枠で囲んでいる部分に撮影画像の評価も記載するというのですが、これに対して、委員の先生方、ご意見ございますか。

委員：現在、クリニックで行っている内視鏡検査の二次読影を病院で行い、病院で行っている一次読影の二次読影は病院のままですか。

委員：開業医同士での一次読影・二次読影において、一次読影を開業医が行ったものを病院の先生にも見ていただけたらという意見です。

委員：どれぐらいの数になりますか。

委員：全部ではなく、基本的には開業医同士で二次読影をまわす。各開業医の事例を年間1，2例程度、病院の先生方にも見ていただく。

委員：以前にされていたようなものですか。

委員：はい、数回行われたことがあるかと思います。今登録している開業医は何施設ありますか、

事務局：登録している開業医の数は、医療機関数は27機関、検査医の人数は38人です。

委員：3病院で15例程度ずつ見ていただくイメージかと思います。

委員：年間15例程度なら可能かと思います。

委員：数が多いと難しいが、代表的な画像を数例チェックというのはできると思います。コメントというものは、全例書くものではないですか。

委員：できれば積極的に書いていただきたいと思います。

委員：わかりました。

委員：先程言われた件数であれば、対応できると思います。

委員：クリニックなど、病院とは機種が違うものがまわってくることはあり得ますか。そこは配慮していただけますか。

委員：わかりました。病院と同じ機種のものをまわすよう事務局の方で配慮してください。

委員：もう1つ、3病院で一次読影・二次読影を実施しているというのは問題ないですが、それ以外で、自院で一次読影・二次読影を実施しているところがありますが、今はいくつの施設ですか。

事務局：自院で一次読影・二次読影をしている施設は7つあります。

委員：その7施設についても、年に1, 2例は二次読影を他院にまわすようお願いしていただくとよいかと思います。複数の医師が在籍する場合は、各々がチェックを受けられるようにお願いします。

事務局：全数ではなく、基本的には自院でされてもよいということでしょうか。

委員：全数ではなく、年間数例は他院にまわしていただいてはどうでしょう。それによって胃内視鏡検査の精度は担保されるかと思います。また、可能であれば、コメント欄に、撮影画像の評価（悪）1. 2. 3. 4. 5（良）と数字を振っておいていただくのも1つかと思います。事務局の方でQ&Aの準備も進めているかと思うので、本日の意見をまとめて、Q&Aに反映し、読影会の時に報告していただけたらと思います。

事務局：Q&Aや指針が変更となる可能性があると思うので、来年度に向けて準備を進めていきます。

（2）協議事項

②検査医の資格要件について

事務局：資料3に基づき説明

委員：何かご意見ございますか。

委員：資格要件の1に関しては、現状の参加体制で資格要件を満たすとのことによいのではという印象があります。

委員：共有いただいた資料、資格要件の②、読影会に参加できない医療機関は他の自治体の研修会参加でもよいという要件があったと思いますが、参加しにくい現状があるのではないかと、学会が開催する研修会というのも漠然としており、それを積極的に受けるというのも厳しいのではないかと思います。

委員：上部消化管スクリーニング認定医というのは日本消化器内視鏡学会であるようですが、若い先生はこれに入っていますか。試験を受けられた方はいますか。

委員：いないかと思います。1人入っているかいないかぐらいだと思います。

委員：内視鏡専門医の取得が難しい人が取得しているイメージがあり、あまり聞いたことがなかったです。

委員：日本消化器内視鏡学会に入っていることは前提ですが、日本消化器内視鏡学会に入会して5年間に入っていないといけないという縛りはないようです。スクリーニング検査のセミナーとeラーニングを受けて修了証書をもらうというシステムのようなようです。そのため、現時点で、大津市の定める資格要件として、日本消化器がん検診学会の認定医、それから日本消化器内視鏡学会の専門医、日本消化器病学会の専門医、これらのいずれかを取得している

ことになるかと思います。しかし、今後のことも考えて、新しい2つの資格を取得している医師も本事業の検査医として認めてよいと考えます。また、来年度からは必ず専門医の認定証を添付していただき事務局で確認してください。開業医の先生方が、病院の先生を雇う形で事業に参加している方もいると思うのですが、その場合は、その先生も認定証を出していただくということでよいのではないかと思います。ただし、各施設1人は、大津市のやり方・手法について勉強する必要があるので、読影会に出ていただくことが大事かと思います。今お話したことで、何かご意見やご提案はございますか。

委 員：全員の認定証を提示しなければならないのは少し大変ではないでしょうか。

委 員：大変であれば、施設でしっかり確認していただき、代表者が記載をするということでもよいかと思います。

委 員：わかりました。専門医番号の記載をするという方法はいかがですか。

委 員：よい意見だと思います。病院の医師については、専門医番号の一覧表を提出していただくこととしたいと思います。開業医は更新できていない可能性もありますので、全員認定証を提出するということにするとよいと思います。

（２）協議事項

③胃がん検診（胃内視鏡検査）読影会について

事務局：資料４に基づき説明

委 員：１１月４日、１２月１０日、２月１３日、水木土ですがいかがでしょうか。

委 員：１１月４日がJDDWの前日です。また、２月１３日が消化管学会だと思います。

委 員：今すぐ日程を調整するのは難しいと思うので、メールで調整してはどうでしょうか。

事務局：そのようにさせていただきます。

委 員：議題は以上となりますので、事務局へお返しします。

事務局：本日いただいたご意見を踏まえ、今年度の読影会の企画、次年度以降の検診の体制整備について進めて参りたいと思います。毎年、この協議会については、２回実施していますが、次回の会議については、先生方のご意見も伺いながら必要に応じて実施をするということにさせていただきたいと思いますので、ご了承いただけたらと思います。

委 員：協議内容についてはすべて協議できましたので、メール会議等で調整できればと思います。よろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。